

(お 知 ら せ)



京都市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

令和 2 年 3 月 1 2 日
京都市保健福祉局
(担当：医療衛生推進室健康安全課 222-4421)

今年の胸部（結核）検診はお済みですか？ ～ 3 月 2 4 日は世界結核デーです～

世界結核デーは、細菌学者ロベルト・コッホが、結核菌の発見を発表した日にちなんで制定されました。

我が国では、平成 30 年に 15,590 人が新たに結核と診断され、京都市においても、年間 227 人の方が結核と診断されています。

京都市では、下記のとおり検診を実施しております。結核は早期発見、早期治療で治る病気ですので、年に 1 回は胸部エックス線検査を受けていただきますよう、御家族や身近な方にも是非お声がけください。

記

1 早期発見の取組（通年実施）

(1) 結核健康相談

医師等による相談や胸部エックス線検査を実施しています。（無料）

※ 定期的を実施していますので、区役所・支所にある医療衛生コーナーへお問合せください。

(2) 胸部検診（結核・肺がん検診）

15 歳以上の市民を対象に胸部エックス線検査を実施しています。（無料）

※ 定期的を実施していますので、区役所・支所にある医療衛生コーナーへお問合せください。

※ 小学校等を会場とした、集団健診会場でも実施しています。（例年 5～10 月）

2 結核予防のポイント

(1) 咳が 2 週間以上続いたら、早めに受診しましょう。

結核の初期症状は、風邪とよく似ています。咳（せき）や痰（たん）・発熱などの症状が長引く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

※ 高齢者の場合、食欲がない・体重が減った・なんとなく元気がないなど、はっきりとした症状がない場合もあります。

(2) 定期的に胸部エックス線検査を受けましょう。

健康診断や職場健診、胸部検診を年 1 回は受診し、早期発見に努めましょう。

特に 65 歳以上の方は、毎年受診するよう感染症法に定められています。

また、要精密検査になった場合には、放置せず必ず精密検査を受けましょう。

3 京都市の結核の状況（平成30年）

- (1) 新登録患者数 227人
罹患率（人口10万対） 15.5
- (2) 新登録患者数に占める高齢者の割合が高くなっています。
新登録患者のうち65歳以上の方の割合 74.5%
80歳以上の方の割合 46.3%
- (3) 全国と比較して、京都市の罹患率は高くなっています。

年	京都市	全国
平成30年	227人（15.5）	15,590人（12.3）
平成29年	235人（16.0）	16,789人（13.3）
平成28年	246人（16.7）	17,625人（13.9）

（ ）内は罹患率（人口10万に対する新規結核患者の割合）